

2025年11月実施 防災訓練課題 各自治会からの意見まとめ

自治会安否確認

- 年2回の安否確認訓練をしているが、災害発生時に実際に活動できるメンバーが何人いるか不安がある。(一北)
- 15世帯は非自治会員であり、日頃からの付き合いもない世帯が多く、全戸配布のチラシも見ていない可能性がある。そのため、意識した関わりをもつよう、敢えて手渡しにするなどの工夫が必要である。(二南)
- タオル結び安否確認は徐々に浸透してきている(四西)

小学校防災訓練

- 今回は「学校での訓練見学は自由参加」と理解し、住民がまとまって移動するような対応をしていないが、集団で避難所へ移動する訓練もした方が良いという意見があった。(一北)
- 訓練内容はよくわかり、体験的なブースについても良かったとの感想が多かった。(二南)
- 避難者名簿を持参する人がいないため、簡易の名簿を作成し、会場受付に提出したが、全員記入した避難者名簿を避難時に持参することを徹底する必要がある。(二南)
- 参加者はほぼいつも同じで固定化しており、参加者拡大は難しい。(四西)

その他

- 非自治会員への対応が課題で、自治会員の他に一定の費用を負担する防災対応会員(仮称)を設け、自治会員同様の防災対応をすること、自治会員にも防災対応会員にもならない世帯には一切の災害時サポートを行わない事を総会提案する予定である。(一南)
- 防災会メンバーが高齢化して体力面で不安があり、消防団との連携を深めたいと考えている。(一北)
- トランシーバーが機能しなかった。(二南)
- 安否確認等の報告を直接本部(市民センター)に提出に行ったが、混乱しており待たされた。そのため、その時間分二南の全体の動きが停滞した。(二南)
- 全体の避難所受付が混み合い、時間がかかった。避難所名簿については持参することを徹底する必要がある。(二南)
- 防災委員が高齢化し数も減少している。地区の防災・防犯組織を一体化すると共に、自治会を中心に防災活動を行うようにしている。(四西)
- 各自治会から本部への連絡(今回は携帯電話)は①聴取側も受信本人だけの対応となり、役割分担上、無駄な待ち時間が多い、②報告者の報告順と聴取者の聞き取り書式が不統一で聴取がスムーズに出来ないので統一書式でのやりとりが望ましい、③今回はシナリオを書き写すのみの訓練で、臨機応変の対応が必要な実際の災害発生時との乖離がありすぎるといった課題があった。(本部)